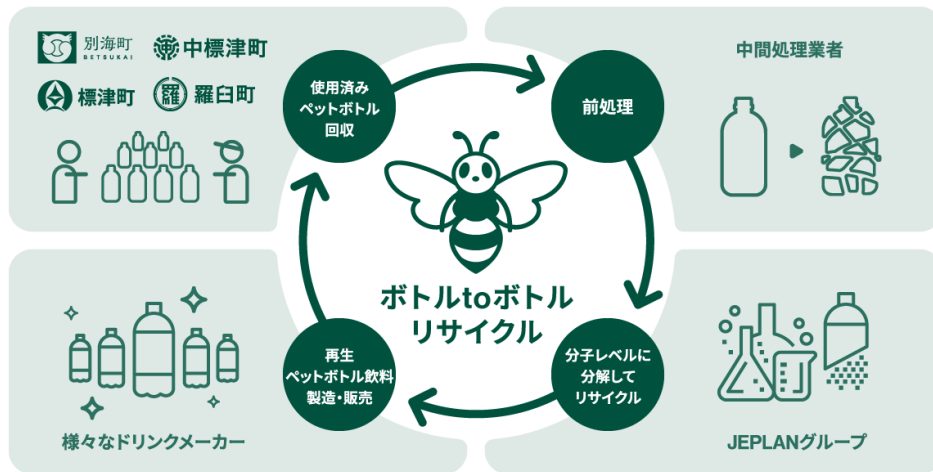


株式会社 JEPLAN  
2025 年 3 月 12 日

## JEPLAN、北海道別海町・中標津町・標津町・羅臼町の4自治体と「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」を締結

—ペットボトルのボトル to ボトル リサイクルに向けた連携を強化—

株式会社JEPLAN（代表取締役執行役員社長：高尾正樹、以下「JEPLAN」）は、北海道別海町（町長：曾根興三）、北海道中標津町（町長：西村穰）、北海道標津町（町長：山口将悟）、北海道羅臼町（町長：湊屋稔）の4自治体と、「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」（以下「本協定」）を2月28日（金）に締結しました。



別海町・中標津町・標津町・羅臼町とペトリファインテクノロジーによるペットボトルの水平リサイクル（ボトル to ボトル）プロセス

本協定により、根室管内4町（別海町・中標津町・標津町・羅臼町）が回収した使用済みペットボトルを道内で前処理し<sup>1</sup>、JEPLANのグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役執行役員社長：伊賀大悟）が、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて、新たなペットボトルなどの原料に再生します。独自技術を活用することにより、使用済みペットボトルを分子レベルまで分解し、色素や金属などの不純物を取り除くことで、石油由来と同等品質の再生PET樹脂にリサイクルすることが可能です。これにより、限りある資源の循環を実現し、ペットボトルの原料となる新たな石油資源の使用削減、さらにはCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献します。

JEPLANグループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、資源循環を推進しています。ペットボトルの資源循環に関しては、日本全国の自治体と連携し、独自技術を活用したボトル to ボトル リサイクルに係る取り組みを実施しており、約50の自治体（2025年2月末時点）と協定を締結しています。

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan\_info@jeplan.co.jp

根室管内4町は、地球温暖化の原因とされているCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンシティを表明し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めています。本協定により、4町とJEPLANグループは、使用済みペットボトルのボトル to ボトル リサイクル推進や、4町の地域住民への環境教育や啓発活動などを通じて連携を強化します。また双方が有する人的・物的資源を有効活用し、資源循環に向けた取り組みや啓発活動の推進など、地域環境保全と地域経済・社会活性化の両立を図り、「地域循環共生圏」の推進に寄与します。

今後もJEPLANグループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

\*1 中標津町、標津町、羅臼町は、3町が共同で運営する「根室北部廃棄物処理広域連合リサイクルセンターくるっと」でペットボトルの前処理をしています。

### ■「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」締結式



写真左から) 羅臼町 町長：湊屋 稔氏、中標津町 町長：西村 穰氏、株式会社 JEPLAN 取締役 執行役員会長：岩元 美智彦、別海町 町長：曾根 興三氏、標津町 町長：山口 将悟氏

### ■JEPLANグループが推進する「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る取り組み (<https://bringbottle.jeplan.co.jp/>)

JEPLANグループは、日本全国の自治体と連携し、ボトル to ボトル リサイクルの取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミではなく、価値ある資源として循環する社会を目指しています。この取り組みの一環として、ペットボトルを回収し、再びペットボトルにリサイクルする活動「おかえりペットボトルアクション」を実施しています。

日本では、年間約64万トン<sup>\*2</sup>のペットボトルが製造・販売されています。そのリサイクル率は約85%<sup>\*3</sup>です。しかし、ペットボトルがペットボトルとしてリ



本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan\_info@jeplan.co.jp

サイクルされている割合は約 34%<sup>\*4</sup>にとどまっています。この残りの 66%をボトル to ボトルリサイクルすることを目指し、さらなる資源循環の推進に取り組んでいます。

\*2, 3 4 PET ボトルリサイクル年次報告書 2024 (PET ボトルリサイクル推進協議会) : <https://www.petbottle-rec.gr.jp/nenji/2024/2024.pdf>

■ **北海道別海町** (<https://betsukai.jp/>)

町長：曾根 興三

■ **北海道中標津町** (<https://www.nakashibetsu.jp/>)

町長：西村 穰

■ **北海道標津町** (<https://www.shibetsutown.jp/>)

町長：山口 将悟

■ **北海道羅臼町** (<https://www.rausu-town.jp/>)

町長：湊屋 稔

■ **株式会社 JEPLAN** (<https://www.jeplan.co.jp>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007 年 1 月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。廃PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を対象に、独自のPETケミカルリサイクル技術を用いて分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組むことで、限りある資源の循環を実現し、CO<sub>2</sub>の排出量削減にも寄与しています。

なお、JEPLAN グループはベトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の2拠点でPETケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan\_info@jeplan.co.jp